

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 広島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	県立広島病院	2	世羅中央病院企業団	公立世羅中央病院	20
-	県立安芸津病院	3			
広島市	広島市民病院	4			
広島市	安佐市民病院	5			
広島市	舟入市民病院	6			
広島市	安芸市民病院	7			
広島市	リハビリテーション病院	8			
呉市	公立下蒲刈病院	9			
尾道市	尾道市立市民病院	10			
尾道市	尾道市公立みつぎ総合病院	11			
福山市	福山市民病院	12			
府中市	府中市立湯が丘病院	13			
府中市	想定企業会計	14			
三次市	市立三次中央病院	15			
庄原市	庄原市立西城市民病院	16			
安芸太田町	安芸太田病院	17			
北広島町	北広島町豊平病院	18			
神石高原町	神石高原町立病院	19			

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	
				病院名	県立広島病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	68,179 m ²	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
診療科数	34	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	650	79.9	80.5	87.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	43.5	47.0	55.1
感染症	-	-	-	-
計	700	77.3	78.1	85.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.7	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	2,843,990	
決算規模(千円)	938,507,796	
標準財政規模(千円)	563,272,580	
財政力指数	0.61920	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	223.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.5
修正医業収益(千円)	22,091,522

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,133,738			
1 経常収益	24,129,679			
(1) 医業収益	22,369,172			
入院収益	15,628,438			
外来収益	6,192,862			
診療収入計	21,821,300			
その他医業収益	547,872			
(うち他会計負担金)	277,650			
(2) 医業外収益	1,760,507			
(うち国・都道府県補助金)	31,897			
(うち他会計補助・負担金)	1,152,069			
(うち長期前受金戻入)	438,598			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,059			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,282,284			
2 経常費用	24,257,002			
(1) 医業費用	22,883,841			
職員給与費	11,771,570	52.6	55.7	49.1
材料費	7,007,748	31.3	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,623,869	16.2	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,380,430	15.1	11.0	12.7
減価償却費	1,257,682	5.6	9.0	8.4
経費	2,713,293	12.1	23.3	20.7
(うち委託料)	1,751,725	7.8	11.5	11.6
研究研修費	111,887			
資産減耗費	21,661			
(2) 医業外費用	1,373,161			
(うち支払利息)	316,769	1.4	1.4	1.2
(3) 特別損失	25,282			
損益				
経常損益	-127,323			
純損益	-148,546			
累積欠損金	23,500,567			
経常収支比率	99.5		97.7	98.8
医業収支比率	97.8		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	5.9		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	93.6		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,114,254
1 固定資産	16,897,542
(1) 有形固定資産	16,499,946
(2) 無形固定資産	12,636
(3) 投資その他の資産	384,960
2 流動資産	5,216,712
(1) 現金及び預金	377,785
(2) 未収金及び未収収益	4,550,382
(3) 貸倒引当金()	29,662
(4) 貯蔵品	243,190
3 繰延資産	-
負債合計	24,035,396
1 固定負債	16,040,763
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,000,544
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	121,719
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,918,500
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,419,347
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,498,184
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	126,214
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	524,720
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,093,282
(9) 前受金及び前受収益	526
3 繰延収益	1,575,286
(1) 長期前受金	4,716,553
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,141,267
資本合計	-1,921,142
1 資本金	29,023,108
2 剰余金	-30,944,250
(1) 資本金剰余金	743,806
(2) 利益剰余金	-31,688,056
負債・資本合計	22,114,254
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,921,142
資本不足額(繰延収益控除後)()	345,856
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,158,142	1,429,719
資本勘定繰入	765,490	765,490
計	1,923,632	2,195,209

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	132.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	
				病院名	県立安芸津病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,654 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	98	81.1	80.1	93.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	81.1	80.1	93.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	26.7	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	2,843,990	
決算規模(千円)	938,507,796	
標準財政規模(千円)	563,272,580	
財政力指数	0.61920	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	223.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.3
修正医業収益(千円)	1,504,597

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,885,952			
1 経常収益	1,885,952			
(1) 医業収益	1,579,257			
入院収益	976,551			
外来収益	475,674			
診療収入計	1,452,225			
その他医業収益	127,032			
(うち他会計負担金)	74,660			
(2) 医業外収益	306,695			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	249,005			
(うち長期前受金戻入)	49,059			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,014,797			
2 経常費用	2,014,797			
(1) 医業費用	1,946,480			
職員給与費	1,158,095	73.3	55.7	72.6
材料費	291,240	18.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	139,179	8.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	150,970	9.6	11.0	5.6
減価償却費	104,880	6.6	9.0	11.1
経費	386,290	24.5	23.3	31.9
(うち委託料)	227,655	14.4	11.5	13.0
研究研修費	4,484			
資産減耗費	1,491			
(2) 医業外費用	68,317			
(うち支払利息)	545	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-128,845			
純損益	-128,845			
累積欠損金	8,187,489			
経常収支比率	93.6		97.7	97.4
医業収支比率	81.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	17.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	17.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	77.5		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,114,254
1 固定資産	16,897,542
(1) 有形固定資産	16,499,946
(2) 無形固定資産	12,636
(3) 投資その他の資産	384,960
2 流動資産	5,216,712
(1) 現金及び預金	377,785
(2) 未収金及び未収収益	4,550,382
(3) 貸倒引当金()	29,662
(4) 貯蔵品	243,190
3 繰延資産	-
負債合計	24,035,396
1 固定負債	16,040,763
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,000,544
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	121,719
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,918,500
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,419,347
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,498,184
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	126,214
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	524,720
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,093,282
(9) 前受金及び前受収益	526
3 繰延収益	1,575,286
(1) 長期前受金	4,716,553
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,141,267
資本合計	-1,921,142
1 資本金	29,023,108
2 剰余金	-30,944,250
(1) 資本金剰余金	743,806
(2) 利益剰余金	-31,688,056
負債・資本合計	22,114,254
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,921,142
資本不足額(繰延収益控除後)()	345,856

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	317,641	323,665
資本勘定繰入	94,696	94,696
計	412,337	418,361

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	132.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	広島市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,194,034
決算規模(千円)		626,662,840
標準財政規模(千円)		328,072,264
財政力指数		0.83
経常収支比率(%)		98.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	183.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	341,152			
1 経常収益	341,152			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	341,152			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	341,152			
2 経常費用	341,152			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	341,152			
(うち支払利息)	341,152	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	安佐市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,194,034	
決算規模(千円)	626,662,840	
標準財政規模(千円)	328,072,264	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	183.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,601			
1 経常収益	5,601			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,601			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,601			
2 経常費用	5,601			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,601			
(うち支払利息)	5,601	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	舟入市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,194,034
決算規模(千円)		626,662,840
標準財政規模(千円)		328,072,264
財政力指数		0.83
経常収支比率(%)		98.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	183.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	76,435			
1 経常収益	76,435			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	76,435			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	76,435			
2 経常費用	76,435			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	76,435			
(うち支払利息)	76,435	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	広島市
	病院名	安芸市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,901 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	80	92.5	88.1	91.8
療 養	60	97.9	97.3	98.0
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	140	94.8	92.1	94.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.1	22.4	21.0

設立団体の状況		
人 口(人)	1,194,034	
決 算 規 模(千円)	626,662,840	
標 準 財 政 規 模(千円)	328,072,264	
財 政 力 指 数	0.83	
経 常 収 支 比 率(%)	98.4	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	183.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.0
修正医業収益(千円)	1,876,123

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	2,114,432			
1 経 常 収 益	2,111,802			
(1) 医 業 収 益	1,888,852			
入 院 収 益	1,406,391			
外 来 収 益	393,176			
診 療 収 入 計	1,799,567			
そ の 他 医 業 収 益	89,285			
(うち他会計負担金)	12,729			
(2) 医 業 外 収 益	222,950			
(うち国・都道府県補助金)	6,451			
(うち他会計補助・負担金)	85,862			
(うち長期前受金戻入)	48,310			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	2,630			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	2,116,808			
2 経 常 費 用	2,110,182			
(1) 医 業 費 用	2,085,687			
職 員 給 与 費	9,757	0.5	55.7	61.3
材 料 費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減 価 償 却 費	109,799	5.8	9.0	10.2
経 理 費	1,965,984	104.1	23.3	30.5
(うち委託料)	90,221	4.8	11.5	13.0
研 究 研 修 費	-	-	-	-
資 産 減 耗 費	147	-	-	-
(2) 医 業 外 費 用	24,495	-	-	-
(うち支払利息)	24,495	1.3	1.4	1.6
(3) 特 別 損 失	6,626	-	-	-
損 益				
経 常 損 益	1,620			
純 損 益	-2,376			
累 積 欠 損 金	558,790			
経 常 収 支 比 率	100.1		97.7	96.5
医 業 収 支 比 率	90.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	5.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	4.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	95.4		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	2,918,614
1 固 定 資 産	2,481,769
(1) 有 形 固 定 資 産	2,480,969
(2) 無 形 固 定 資 産	-
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	800
2 流 動 資 産	436,845
(1) 現 金 及 び 預 金	61,123
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	391,216
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	15,494
(4) 貯 蔵 品	-
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	2,150,418
1 固 定 負 債	1,314,212
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,272,303
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	41,909
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	547,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	159,984
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	491
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	270,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	114,576
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	289,171
(1) 長 期 前 受 金	873,753
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	584,582
資 本 合 計	768,196
1 資 本 金	493,741
2 剰 余 金	274,455
(1) 資 本 剰 余 金	833,245
(2) 利 益 剰 余 金	-558,790
負 債 ・ 資 本 合 計	2,918,614
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	88,456	98,591
資 本 勘 定 繰 入	91,460	103,585
計	179,916	202,176

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	29.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	リハビリテーション病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,194,034
決算規模(千円)		626,662,840
標準財政規模(千円)		328,072,264
財政力指数		0.83
経常収支比率(%)		98.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	183.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	51,169			
1 経常収益	51,169			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	51,169			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	51,169			
2 経常費用	51,169			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	51,169			
(うち支払利息)	51,169	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	呉市
				病院名	公立下蒲刈病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	2,909 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	12	看護配置	15	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	49	72.3	78.3	82.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	72.3	78.3	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		36.3	39.0	36.6

設立団体の状況		
人口(人)	228,552	
決算規模(千円)	107,329,280	
標準財政規模(千円)	55,185,392	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	74.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.5
修正医業収益(千円)	433,420

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	633,099			
1 経常収益	633,094			
(1) 医業収益	489,561			
入院収益	260,122			
外来収益	160,938			
診療収入計	421,060			
その他医業収益	68,501			
(うち他会計負担金)	56,141			
(2) 医業外収益	143,533			
(うち国・都道府県補助金)	269			
(うち他会計補助・負担金)	128,337			
(うち長期前受金戻入)	9,440			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	686,018			
2 経常費用	685,983			
(1) 医業費用	671,971			
職員給与費	481,409	98.3	55.7	80.8
材料費	34,244	7.0	24.7	13.8
(うち薬品費)	18,137	3.7	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,981	3.3	11.0	4.9
減価償却費	37,993	7.8	9.0	12.9
経費	115,614	23.6	23.3	47.4
(うち委託料)	76,380	15.6	11.5	20.7
研究研修費	864			
資産減耗費	1,847			
(2) 医業外費用	14,012			
(うち支払利息)	879	0.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	35			
損益				
経常損益	-52,889			
純損益	-52,919			
累積欠損金	318,795			
経常収支比率	92.3		97.7	96.7
医業収支比率	72.9		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	29.1		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	37.7		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	29.1		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	65.4		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	833,526
1 固定資産	640,515
(1) 有形固定資産	634,911
(2) 無形固定資産	171
(3) 投資その他の資産	5,433
2 流動資産	193,011
(1) 現金及び預金	122,363
(2) 未収金及び未収収益	68,134
(3) 貸倒引当金()	218
(4) 貯蔵品	2,732
3 繰延資産	-
負債合計	398,497
1 固定負債	129,703
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,720
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	67,983
(7) リース債務	-
2 流動負債	64,895
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,106
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,760
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,360
(9) 前受金及び前受収益	24
3 繰延収益	203,899
(1) 長期前受金	399,367
(2) 長期前受金収益化累計額()	195,468
資本合計	435,029
1 資本金	753,813
2 剰余金	-318,784
(1) 資本剰余金	11
(2) 利益剰余金	-318,795
負債・資本合計	833,526
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	174,624	184,478
資本勘定繰入	29,194	29,194
計	203,818	213,672

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	65.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	尾道市
				病院名	尾道市立市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,438 m ²	指定病院の状況	救臨地輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	290	76.5	77.3	75.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	76.5	77.3	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	15.4	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	138,626	
決算規模(千円)	68,241,584	
標準財政規模(千円)	34,988,448	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	34.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.6
修正医業収益(千円)	6,236,275

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,141,442			
1 経常収益	7,136,552			
(1) 医業収益	6,632,115			
入院収益	4,593,240			
外来収益	1,461,051			
診療収入計	6,054,291			
その他医業収益	577,824			
(うち他会計負担金)	395,840			
(2) 医業外収益	504,437			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	404,055			
(うち長期前受金戻入)	34,105			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,890			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,149,166			
2 経常費用	7,136,023			
(1) 医業費用	6,886,821			
職員給与費	3,905,430	58.9	55.7	59.8
材料費	1,340,463	20.2	24.7	19.0
(うち薬品費)	591,476	8.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	748,254	11.3	11.0	9.2
減価償却費	436,278	6.6	9.0	9.9
経費	1,175,037	17.7	23.3	27.7
(うち委託料)	706,563	10.7	11.5	12.4
研究研修費	23,517			
資産減耗費	6,096			
(2) 医業外費用	249,202			
(うち支払利息)	38,163	0.6	1.4	1.5
(3) 特別損失	13,143			
損益				
経常損益	529			
純損益	-7,724			
累積欠損金	459,305			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	96.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	88.8		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,552,758
1 固定資産	13,040,736
(1) 有形固定資産	12,740,395
(2) 無形固定資産	1,969
(3) 投資その他の資産	298,372
2 流動資産	6,512,022
(1) 現金及び預金	4,599,189
(2) 未収金及び未収収益	1,863,221
(3) 貸倒引当金()	1,998
(4) 貯蔵品	47,427
3 繰延資産	-
負債合計	11,162,070
1 固定負債	7,270,928
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,598,864
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,620,553
(7) リース債務	51,511
2 流動負債	2,395,936
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	526,310
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	847,644
(6) リース債務	7,419
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	953,218
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,495,206
(1) 長期前受金	2,739,639
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,244,433
資本合計	8,390,688
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	-8,493
(1) 資本金剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	-220,958
負債・資本合計	19,552,758
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,028,499	799,895
資本勘定繰入	239,414	2,000
計	1,267,913	801,895

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	尾道市
				病院名	尾道市公立みつぎ総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,677 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	21	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	145	87.8	87.9	82.9
療養	95	89.5	91.6	94.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	240	88.5	89.4	87.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	19.0	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	138,626	
決算規模(千円)	68,241,584	
標準財政規模(千円)	34,988,448	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	34.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.6
修正医業収益(千円)	4,721,731

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,417,792			
1 経常収益	6,417,522			
(1) 医業収益	5,022,181			
入院収益	2,605,429			
外来収益	1,075,084			
診療収入計	3,680,513			
その他医業収益	1,341,668			
(うち他会計負担金)	300,450			
(2) 医業外収益	1,395,341			
(うち国・都道府県補助金)	530			
(うち他会計補助・負担金)	422,454			
(うち長期前受金戻入)	87,325			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	270			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,517,581			
2 経常費用	6,513,676			
(1) 医業費用	5,449,776			
職員給与費	3,678,951	73.3	55.7	59.8
材料費	602,745	12.0	24.7	19.0
(うち薬品費)	278,051	5.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	301,632	6.0	11.0	9.2
減価償却費	319,156	6.4	9.0	9.9
経費	821,172	16.4	23.3	27.7
(うち委託料)	453,668	9.0	11.5	12.4
研究研修費	14,776			
資産減耗費	12,976			
(2) 医業外費用	1,063,900			
(うち支払利息)	21,080	0.4	1.4	1.5
(3) 特別損失	3,905			
損益				
経常損益	-96,154			
純損益	-99,789			
累積欠損金	299,653			
経常収支比率	98.5		97.7	96.3
医業収支比率	92.2		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	87.4		85.7	83.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,552,758
1 固定資産	13,040,736
(1) 有形固定資産	12,740,395
(2) 無形固定資産	1,969
(3) 投資その他の資産	298,372
2 流動資産	6,512,022
(1) 現金及び預金	4,599,189
(2) 未収金及び未収収益	1,863,221
(3) 貸倒引当金()	1,998
(4) 貯蔵品	47,427
3 繰延資産	-
負債合計	11,162,070
1 固定負債	7,270,928
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,598,864
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,620,553
(7) リース債務	51,511
2 流動負債	2,395,936
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	526,310
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	847,644
(6) リース債務	7,419
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	953,218
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,495,206
(1) 長期前受金	2,739,639
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,244,433
資本合計	8,390,688
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	-8,493
(1) 資本金剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	-220,958
負債・資本合計	19,552,758
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	614,534	722,904
資本勘定繰入	138,140	72,750
計	752,674	795,654

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	福山市
				病院名	福山市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,620 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	500	84.8	83.6	87.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	1.1	0.3	0.9
計	506	83.8	82.6	85.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.1	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	464,811	
決算規模(千円)	182,024,428	
標準財政規模(千円)	101,797,875	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	84.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.0
修正医業収益(千円)	18,230,154

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,068,304			
1 経常収益	20,068,304			
(1) 医業収益	18,592,737			
入院収益	12,524,564			
外来収益	5,480,425			
診療収入計	18,004,989			
その他医業収益	587,748			
(うち他会計負担金)	362,583			
(2) 医業外収益	1,475,567			
(うち国・都道府県補助金)	42,719			
(うち他会計補助・負担金)	465,330			
(うち長期前受金戻入)	722,880			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,057,149			
2 経常費用	20,057,149			
(1) 医業費用	18,995,438			
職員給与費	7,623,277	41.0	55.7	49.1
材料費	6,520,314	35.1	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,178,463	17.1	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,261,470	17.5	11.0	12.7
減価償却費	1,442,050	7.8	9.0	8.4
経費	3,269,453	17.6	23.3	20.7
(うち委託料)	1,238,147	6.7	11.5	11.6
研究研修費	89,607			
資産減耗費	50,737			
(2) 医業外費用	1,061,711			
(うち支払利息)	196,214	1.1	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	11,155			
純損益	11,155			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		97.7	98.8
医業収支比率	97.9		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	4.1		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	4.5		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	4.1		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	95.9		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,371,238
1 固定資産	11,605,377
(1) 有形固定資産	11,507,674
(2) 無形固定資産	4,179
(3) 投資その他の資産	93,524
2 流動資産	13,765,861
(1) 現金及び預金	10,619,758
(2) 未収金及び未収収益	3,116,695
(3) 貸倒引当金()	45,437
(4) 貯蔵品	52,510
3 繰延資産	-
負債合計	17,170,401
1 固定負債	13,475,572
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,894,839
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,580,733
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,501,286
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	818,897
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	362,341
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,247,189
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,193,543
(1) 長期前受金	12,476,670
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,283,127
資本合計	8,200,837
1 資本金	2,263,535
2 剰余金	5,937,302
(1) 資本金剰余金	721,550
(2) 利益剰余金	5,215,752
負債・資本合計	25,371,238
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	827,913	827,913
資本勘定繰入	650,969	650,969
計	1,478,882	1,478,882

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	府中市
		病院名	府中市立湯が丘病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	8,765 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	1	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	308	68.3	71.6	74.3
感染症	-	-	-	-
計	308	68.3	71.6	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	40,069	
決算規模(千円)	20,531,600	
標準財政規模(千円)	11,612,186	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	74.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,296,793			
1 経常収益	1,296,793			
(1) 医業収益	1,120,945			
入院収益	1,048,937			
外来収益	53,803			
診療収入計	1,102,740			
その他医業収益	18,205			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	175,848			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	149,266			
(うち長期前受金戻入)	14,798			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,264,448			
2 経常費用	1,264,448			
(1) 医業費用	1,219,649			
職員給与費	916,220	81.7	55.7	98.9
材料費	50,302	4.5	24.7	8.8
(うち薬品費)	40,053	3.6	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,168	0.9	11.0	1.1
減価償却費	62,152	5.5	9.0	12.7
経費	188,611	16.8	23.3	34.6
(うち委託料)	117,640	10.5	11.5	17.1
研究研修費	2,276			
資産減耗費	88			
(2) 医業外費用	44,799			
(うち支払利息)	10,275	0.9	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	32,345			
純損益	32,345			
累積欠損金	178,332			
経常収支比率	102.6		97.7	98.9
医業収支比率	91.9		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	11.5		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	90.8		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,090,106
1 固定資産	810,720
(1) 有形固定資産	776,645
(2) 無形固定資産	27,762
(3) 投資その他の資産	6,313
2 流動資産	2,279,386
(1) 現金及び預金	2,099,883
(2) 未収金及び未収収益	182,709
(3) 貸倒引当金()	5,031
(4) 貯蔵品	1,726
3 繰延資産	-
負債合計	2,039,543
1 固定負債	1,608,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	999,875
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	608,478
(7) リース債務	-
2 流動負債	291,242
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	179,374
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,625
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	52,874
(9) 前受金及び前受収益	520
3 繰延収益	139,948
(1) 長期前受金	358,187
(2) 長期前受金収益化累計額()	218,239
資本合計	1,050,563
1 資本金	1,781,359
2 剰余金	-730,796
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-730,796
負債・資本合計	3,090,106
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.9
修正医業収益(千円)	1,120,945

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	143,742	149,266
資本勘定繰入	48,328	48,328
計	192,070	197,594

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	府中市
	病院名	想定企業会計

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	40,069	
決算規模(千円)	20,531,600	
標準財政規模(千円)	11,612,186	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	74.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,848			
1 経常収益	20,848			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	20,848			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,848			
2 経常費用	20,848			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.1
経費	-	-	23.3	31.9
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	20,848			
(うち支払利息)	20,848	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	976,458			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	三次市
				病院名	市立三次中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,120 m ²	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
診療科数	23	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	350	79.7	78.0	80.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	79.7	78.0	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	13.5	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	53,615	
決算規模(千円)	38,344,434	
標準財政規模(千円)	21,430,231	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	52.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.7
修正医業収益(千円)	8,178,810

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,817,101			
1 経常収益	8,816,636			
(1) 医業収益	8,220,030			
入院収益	5,063,091			
外来収益	2,769,627			
診療収入計	7,832,718			
その他医業収益	387,312			
(うち他会計負担金)	41,220			
(2) 医業外収益	596,606			
(うち国・都道府県補助金)	61,659			
(うち他会計補助・負担金)	272,838			
(うち長期前受金戻入)	189,249			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	465			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,713,919			
2 経常費用	8,698,079			
(1) 医業費用	8,289,060			
職員給与費	4,247,115	51.7	55.7	57.0
材料費	2,181,641	26.5	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,310,944	15.9	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	792,444	9.6	11.0	11.3
減価償却費	526,329	6.4	9.0	9.3
経費	1,278,037	15.5	23.3	22.1
(うち委託料)	831,663	10.1	11.5	11.1
研究研修費	49,278			
資産減耗費	6,660			
(2) 医業外費用	409,019			
(うち支払利息)	80,838	1.0	1.4	1.4
(3) 特別損失	15,840			
損益				
経常損益	118,557			
純損益	103,182			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.4		97.7	96.4
医業収支比率	99.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	3.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.8		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	3.6		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	97.8		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,844,025
1 固定資産	9,997,580
(1) 有形固定資産	5,985,236
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	4,012,344
2 流動資産	3,846,445
(1) 現金及び預金	2,356,058
(2) 未収金及び未収収益	1,463,877
(3) 貸倒引当金()	9,595
(4) 貯蔵品	35,015
3 繰延資産	-
負債合計	6,993,029
1 固定負債	4,038,088
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,167,988
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,866,932
(7) リース債務	3,168
2 流動負債	1,494,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	630,459
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	250,863
(6) リース債務	3,021
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	597,398
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,460,343
(1) 長期前受金	3,832,160
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,371,817
資本合計	6,850,996
1 資本金	4,784,176
2 剰余金	2,066,820
(1) 資本金剰余金	130,337
(2) 利益剰余金	1,936,483
負債・資本合計	13,844,025
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	581,069	314,058
資本勘定繰入	485,636	127,000
計	1,066,705	441,058

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	庄原市
				病院名	庄原市立西城市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,099 m ²	指定病院の状況	救臨	へ	輪
診療科数	9	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	54	81.9	79.5	81.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	81.9	79.5	81.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	18.3	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	37,000	
決算規模(千円)	30,638,845	
標準財政規模(千円)	17,123,323	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	111.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.5
修正医業収益(千円)	905,732

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,369,954			
1 経常収益	1,369,954			
(1) 医業収益	953,980			
入院収益	440,019			
外来収益	422,790			
診療収入計	862,809			
その他医業収益	91,171			
(うち他会計負担金)	48,248			
(2) 医業外収益	415,974			
(うち国・都道府県補助金)	8,833			
(うち他会計補助・負担金)	150,233			
(うち長期前受金戻入)	15,583			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,322,782			
2 経常費用	1,322,782			
(1) 医業費用	1,284,453			
職員給与費	815,796	85.5	55.7	72.6
材料費	90,327	9.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	52,254	5.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,073	4.0	11.0	5.6
減価償却費	63,109	6.6	9.0	11.1
経費	311,167	32.6	23.3	31.9
(うち委託料)	134,324	14.1	11.5	13.0
研究研修費	1,212			
資産減耗費	2,842			
(2) 医業外費用	38,329			
(うち支払利息)	6,768	0.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	47,172			
純損益	47,172			
累積欠損金	632,246			
経常収支比率	103.6		97.7	97.4
医業収支比率	74.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	14.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	88.6		85.7	74.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,502,364
1 固定資産	854,267
(1) 有形固定資産	834,137
(2) 無形固定資産	20,130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	648,097
(1) 現金及び預金	456,631
(2) 未収金及び未収収益	191,690
(3) 貸倒引当金()	1,186
(4) 貯蔵品	962
3 繰延資産	-
負債合計	587,485
1 固定負債	252,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	252,864
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	159,661
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	67,164
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,021
(6) リース債務	52
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	27,643
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	174,960
(1) 長期前受金	442,890
(2) 長期前受金収益化累計額()	267,930
資本合計	914,879
1 資本金	1,511,163
2 剰余金	-596,284
(1) 資本金剰余金	35,962
(2) 利益剰余金	-632,246
負債・資本合計	1,502,364
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	185,865	198,481
資本勘定繰入	36,098	36,098
計	221,963	234,579

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	安芸太田町
	病院名	安芸太田病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	10,979 m ²	指定病院の状況	救臨へ
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	53	84.1	83.7	86.2
療養	52	78.2	80.8	79.2
結核	-	-	-	-
精神	44	64.5	51.1	43.3
感染症	-	-	-	-
計	149	76.3	73.0	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	18.1	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	6,472	
決算規模(千円)	7,487,284	
標準財政規模(千円)	4,617,901	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	103.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	62.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.3
修正医業収益(千円)	1,455,640

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,964,964			
1 経常収益	1,964,033			
(1) 医業収益	1,531,302			
入院収益	916,412			
外来収益	461,965			
診療収入計	1,378,377			
その他医業収益	152,925			
(うち他会計負担金)	75,662			
(2) 医業外収益	432,731			
(うち国・都道府県補助金)	14,255			
(うち他会計補助・負担金)	304,338			
(うち長期前受金戻入)	98,652			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	931			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,942,638			
2 経常費用	1,935,582			
(1) 医業費用	1,859,466			
職員給与費	1,100,874	71.9	55.7	61.3
材料費	199,372	13.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	78,385	5.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	93,057	6.1	11.0	8.2
減価償却費	207,112	13.5	9.0	10.2
経費	327,866	21.4	23.3	30.5
(うち委託料)	135,281	8.8	11.5	13.0
研究研修費	3,536			
資産減耗費	20,706			
(2) 医業外費用	76,116			
(うち支払利息)	8,415	0.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	7,056			
損益				
経常損益	28,451			
純損益	22,326			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.5		97.7	96.5
医業収支比率	82.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	19.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	81.8		85.7	80.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,636,149
1 固定資産	2,582,377
(1) 有形固定資産	2,526,504
(2) 無形固定資産	894
(3) 投資その他の資産	54,979
2 流動資産	1,053,772
(1) 現金及び預金	803,629
(2) 未収金及び未収収益	230,508
(3) 貸倒引当金()	97
(4) 貯蔵品	17,407
3 繰延資産	-
負債合計	2,154,792
1 固定負債	640,407
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	640,407
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	245,015
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	63,693
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	68,749
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	110,184
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,269,370
(1) 長期前受金	1,593,669
(2) 長期前受金収益化累計額()	324,299
資本合計	1,481,357
1 資本金	1,334,906
2 剰余金	146,451
(1) 資本剰余金	47,435
(2) 利益剰余金	99,016
負債・資本合計	3,636,149
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	380,000	380,000
資本勘定繰入	106,326	73,800
計	486,326	453,800

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	北広島町
	病院名	北広島町豊平病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	51.1	65.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	51.1	65.2
平均在院日数(一般病床のみ)		-	20.4	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	18,918	
決算規模(千円)	15,406,453	
標準財政規模(千円)	9,423,999	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.6
	将来負担比率(%)	74.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,133			
1 経常収益	12,133			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,133			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	12,133			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,133			
2 経常費用	12,133			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,133			
(うち支払利息)	12,133	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	8,089	12,133
資本勘定繰入	34,397	51,596
計	42,486	63,729

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	神石高原町
				病院名	神石高原町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,406 m ²	指定病院の状況	救 へ		
診療科数	7	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	47	62.9	67.7	70.2
療 養	36	92.1	79.8	85.6
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	83	75.6	72.9	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	18.1	23.1

設立団体の状況		
人口(人)	9,217	
決算規模(千円)	11,137,353	
標準財政規模(千円)	6,055,550	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	82.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	370,197			
1 経 常 収 益	370,197			
(1) 医 業 収 益	18,704			
入 院 収 益	-			
外 来 収 益	-			
診 療 収 入 計	-			
そ の 他 医 業 収 益	18,704			
(うち他会計負担金)	17,429			
(2) 医 業 外 収 益	351,493			
(うち国・都道府県補助金)	3,810			
(うち他会計補助・負担金)	200,054			
(うち長期前受金戻入)	43,690			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	370,195			
2 経 常 費 用	370,195			
(1) 医 業 費 用	369,951			
職 員 給 与 費	-	-	55.7	72.6
材 料 費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減 価 償 却 費	69,921	373.8	9.0	11.1
経 費	299,755	1602.6	23.3	31.9
(うち委託料)	2,540	13.6	11.5	13.0
研 究 研 修 費	-	-	-	-
資 産 減 耗 費	275	-	-	-
(2) 医 業 外 費 用	244	-	-	-
(うち支払利息)	244	1.3	1.4	1.7
(3) 特 別 損 失	-	-	-	-
損 益				
経 常 損 益	2			
純 損 益	2			
累 積 欠 損 金	-			
経 常 収 支 比 率	100.0		97.7	97.4
医 業 収 支 比 率	5.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	58.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	1162.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	58.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	41.3		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	1,110,305
1 固 定 資 産	943,863
(1) 有 形 固 定 資 産	836,480
(2) 無 形 固 定 資 産	681
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	106,702
2 流 動 資 産	166,442
(1) 現 金 及 び 預 金	132,600
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	33,842
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	-
(4) 貯 蔵 品	-
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	831,099
1 固 定 負 債	89,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	89,332
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	44,347
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,364
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	-
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	32,983
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	697,420
(1) 長 期 前 受 金	922,235
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	224,815
資 本 合 計	279,206
1 資 本 金	-
2 剰 余 金	279,206
(1) 資 本 剰 余 金	260,368
(2) 利 益 剰 余 金	18,838
負 債 ・ 資 本 合 計	1,110,305
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.3
修正医業収益(千円)	1,275

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	245,127	217,483
資本勘定繰入	33,692	67,384
計	278,819	284,867

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	世羅中央病院企業団
	病院名	公立世羅中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,154 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	18	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	135	98.2	99.5	102.2
療養	20	95.7	98.7	99.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	97.9	99.4	101.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	17.5	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.5
修正医業収益(千円)	2,539,489

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,007,336			
1 経常収益	2,979,732			
(1) 医業収益	2,669,057			
入院収益	1,736,761			
外来収益	615,406			
診療収入計	2,352,167			
その他医業収益	316,890			
(うち他会計負担金)	129,568			
(2) 医業外収益	310,675			
(うち国・都道府県補助金)	396			
(うち他会計補助・負担金)	182,577			
(うち長期前受金戻入)	116,847			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,604			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,038,772			
2 経常費用	3,038,772			
(1) 医業費用	3,006,028			
職員給与費	1,541,921	57.8	55.7	61.3
材料費	443,727	16.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	266,259	10.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	146,269	5.5	11.0	8.2
減価償却費	206,888	7.8	9.0	10.2
経費	801,532	30.0	23.3	30.5
(うち委託料)	215,748	8.1	11.5	13.0
研究研修費	8,330			
資産減耗費	3,630			
(2) 医業外費用	32,744			
(うち支払利息)	17,915	0.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-59,040			
純損益	-31,436			
累積欠損金	103,342			
経常収支比率	98.1		97.7	96.5
医業収支比率	88.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	87.8		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,021,619
1 固定資産	3,057,054
(1) 有形固定資産	3,038,559
(2) 無形固定資産	10,695
(3) 投資その他の資産	7,800
2 流動資産	1,964,565
(1) 現金及び預金	1,565,545
(2) 未収金及び未収収益	375,414
(3) 貸倒引当金()	387
(4) 貯蔵品	23,258
3 繰延資産	-
負債合計	2,585,110
1 固定負債	1,270,995
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	877,417
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	383,078
(7) リース債務	10,500
2 流動負債	371,469
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	108,099
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	100,826
(6) リース債務	4,200
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	147,751
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	942,646
(1) 長期前受金	2,300,312
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,357,666
資本合計	2,436,509
1 資本金	2,477,048
2 剰余金	-40,539
(1) 資本剰余金	56,303
(2) 利益剰余金	-96,842
負債・資本合計	5,021,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	311,384	312,145
資本勘定繰入	127,402	127,402
計	438,786	439,547

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。